

2026年度

高知大学大学院総合人間自然科学研究科

地域協働学専攻(修士課程)第一次募集

一般選抜 総合問題(配点100点)問題冊子

〈地域社会学(配点50点)〉

2025年9月20日 9時~10時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は全部で1ページあります。落丁、乱丁もしくは印刷が不鮮明な箇所などがある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 試験終了後に、この問題冊子は持ち帰ってください。

<地域社会学>

私たちは、階級やジェンダー、人種、エスニシティ、年齢、障がいの有無など、さまざまな社会的カテゴリーに属しています。こうした複数の社会的カテゴリーが重なるとき、単一のカテゴリーに由来するのとは別個の抑圧や社会的不平等を経験するという見方があります（インターセクショナルリティ、交差性）。たとえば同じ「女性」であっても、日本国籍を持ち、異性愛で、障がいを持たない女性であれば、外国籍の女性や非異性愛の女性、障がいのある女性に比べて不利な状況を経験することは少ないでしょう。

地域社会における問題をとらえる上でも、「複数の社会的カテゴリーが重なるところに、より問題が生じている」という視点は重要となるでしょう。そこで、以上の視点をふまえ、次の問題について答えなさい。

【設問】

現代の地域社会における具体的な問題を一つ取り上げ、そこで困難を抱える人々について上記の視点をふまえて説明したうえで、その問題の解決の方向性について論じなさい。

(50点)